

木の良さを活かした作品を募集します。

主催：日本木材青壮年団体連合会

# 第15回 木材活用コンクール

後援：林野庁、国土交通省、(財)日本住宅・木材技術センター、(社)全国木材組合連合会、(社)日本建築家協会、(社)日本建築学会、(社)日本インテリアプランナー協会、日本木材防腐工業組合(予定も含む)

古来より日本では身近な存在である「木」の特質を良く理解し、暮らしの中で様々な用途に利用し共に暮らしてきました。木と深く関わりながら木を活用する知恵を学び技術を後世に伝えてきました。日本の文化はまさしく「木の文化」であるといえます。

現代社会においても、「木材」は豊かな暮らしや社会の実現に貢献しています。木材は作り手が様々な用途、空間に応じた創造性を発揮し活用することで、使い手の感性に働きかけ、使い手が素敵と感じる「豊かな暮らし」を可能とする素材です。

また、自然と人と社会が共存できる「豊かな社会」を実現するために、地球規模の環境破壊や資源の枯渇など社会が直面している様々な課題に対して、木材は解決法を提供しています。地球温暖化防止に役立ち、サステナブル(持続可能)な「循環型社会」を形成するうえで必要不可欠である再生可能な資源として利用できます。作り手として木材の持つこのような価値をメッセージとして発信し、使い手に伝えていくことが大切ではないでしょうか。使い手に環境問題の重要性を認識していただき、持続可能な木材を利用することが地球環境保全に繋がることを示していかなければなりません。

第15回木材活用コンクールでは、「木の良さ」を活かした作品を広く募集し、木材の新しい用途の開発や需要拡大に貢献し、木材の利用を通じて豊かな暮らしや社会の実現を目指したものを表彰します。皆さまのものづくりへの想いが込められた作品をお待ちしています。

## 募集部門

- 第1部門 木造及び混構造建築物(構造物)
- 第2部門 木質空間(内装、外装等の木質化)
- 第3部門 一般住宅
- 第4部門 ランドスケープ・インスタレーション
- 第5部門 プロダクツ(家具、インテリア用品、建材、木製品)

## 募集締切

平成24年1月31日必着

## 審査委員会

- 審査委員長：深尾 精一(首都大学東京都市環境学部建築都市コース教授)  
審査委員：有馬 孝禮(木のまち・木のいえ推進フォーラム)代表、加藤 昌之((株)加藤設計代表取締役)  
岸 純夫((財)日本住宅・木材技術センター理事長)  
栗山 正也(KDアトリエ所長・日本インテリアプランナー協会顧問)  
黒川 哲郎(東京藝術大学美術学部建築科名誉教授)、松井 郁夫((株)松井郁夫建築設計事務所代表取締役)  
村口 峯子(インテリアデザイナー・駒沢女子大学教授)  
落合 賢治(日本木材青壮年団体連合会会長)、坂本 好孝(日本木材青壮年団体連合会木材活用委員長)

## 応募詳細

<http://www.mokusei.net/mkc/>